

◎ 太田道灌ゆかりの地

たかとりやま
高取山、
こうぼうやま
弘法山—
やまぶき
山吹の里
さと

高波操

梅の里として知られる、埼玉県西部に位置する越生町は、関東管領上杉氏の重臣であり、築城家として知られる太田道灌ゆかりの地でもある。梅の花には少し早いこの時期、越生の山と道灌ゆかりの地を巡った。

JR八高線と東武鉄道越生線が乗り入れる越生駅で下車をする。改札から真つすぐに通りを進むと、右に町の名産品販売を兼ねる観光案内所の前を通る。信号を渡ると、正面に行基が開山したという法恩寺がある。法恩寺の前から右に道なりに行くと通りに出て、山に向かつて上って行く。十字路の先に中世この地を治めていた越生氏の氏

神である越生神社がある。神社からわずかに進むと、高取山の登山口がある。

山道に入るとすぐに右の尾根上に付けられた山道を登って行く。登るにつれ傾斜が増し、振り返ると越生の町が木々の間から見え隠れする。そして越生神社の奥の院が祀られた高取山に着く。高取山は戦乱にそなえた越生氏の砦であったといわれる。

神社の左から再び山道に入る。杉やヒノキ林が続き、シダが茂る暗く展望のきかない道を登って行くと、右に周囲が伐採された明るい中に、丸太の階段道があり、これを登って行くと、西山高取に着く。東側が開け、眼下に越

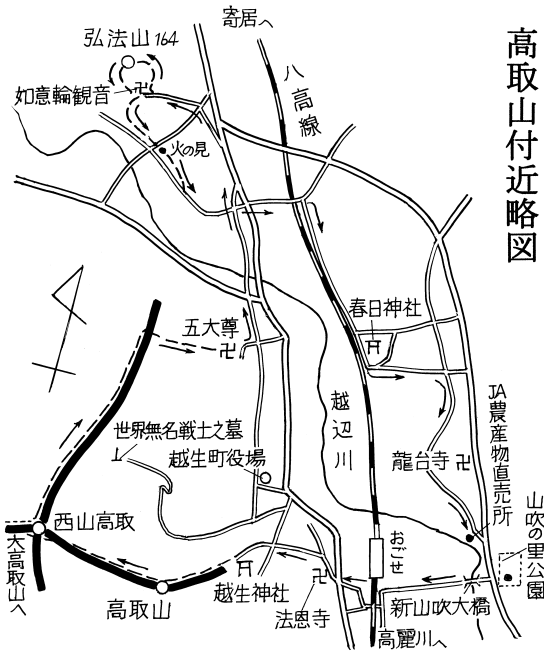


山吹の里歴史公園から西山高取を望む

生の町が見える。

五大尊に向かう山道に入ると、再び杉やヒノキの暗い尾根上の道を下って行く。一度登り返して下ると、右下に木々の間からゴルフ場が見え、さらに下ると、つつじ公園への道を右に分けて、尾根道を行く。やがて杉林の中を、

高取山付近略図



右に下って行く細い道があり、これを下って行くと、五体の明王像を祀る、五大尊の左に出る。お堂の右はつつじ公園になっており、例年4月下旬から5月中旬が花の見頃だという。

お堂の前から石段を下り、十字路に出ると左の民家の間の道を行き、「三滝入口」の信号のある通りに入る。信

号を渡って民家の間を道なりに行くと、左前方に弘法山が見えて来る。そして県道30号線に出て、県道を進むと、「弘法山観世音」の石碑が立っており、その先で県道と分かれ、左に入り道なりに坂を上って行くと、右に石段、そしてその上に如意輪観音堂がある。

弘法山へはお堂の左右奥から道が付

けられており、山頂近くで合流する。右へと歩き丸太の階段を上って行くと、左から道が合さり、露石の道をわずかに登り、鳥居をくぐって石段を上ると、諏訪神社が祀られる、164メートルの弘法山に着く。

下りは、上って来た道の途中から右へ入り、お堂の左奥へと下って行

く。弘法山はサクラの木が多く、越生のサクラの名所になっており、例年4月中旬頃が見頃だと聞く。

石段下まで戻ると、右へわずかに行くと、左に細い敷石の道があり、これを下って行くと、墓道を抜け見正寺に出る。見正寺の参道を通って舗装道路に出ると、右に十字路があり、左に曲がって畑の中を行くと、往きに通った道を越え、県道30号線を越し、さらに八高線の踏切を渡る。そして八高線沿いの道を、高取山から五大尊に続く山並みを右に見ながら行くと、左に春日神社がある。神社の前の道を行き、十字路で右へ曲がり、民家の点在する道をしばらく行くと、JA農産物直売所が右にあり、県道30号線に出る。越辺川に沿って県道を行く。新山吹大橋を過ぎると、左に山吹の里歴史公園がある。

公園の案内板によれば、太田道灌が川越領主であった頃、父を訪ねて、この山吹の里辺りを通りかかった時、わか雨に遭い、近くの農家で蓑を借り



弘法山

ようとした時、その家の住人に無言でヤマブキの枝を差しだされたが、道灌は意味がわからず、不機嫌のまま帰館し、ことの顛末を家臣に話したところ、

「七重八重 花は咲けども 山吹の
実の一つだに 無きぞ悲しき」という
古歌で返答したのだと教えられ、これ

を恥じて、後大いに学問にも励み、文武両道を兼ねた名将といわれるようになったという伝説が残る、道灌ゆかりの地である。

公園は後方の斜面を生かして造られており、伝説に出てくるようななかやぶきの水車小屋があり、その裏の斜面を登って展望台へ上ってみた。眼下に越辺川と越生の町、歩いた高取山から西山高取、五大尊への山並み、そして奥武蔵の山々が眺められた。斜面にはヤマブキが植えられており、花が咲く4月下旬から5月上旬にかけて、斜面一面が山吹色に染まり美しいという。

新山吹大橋のたもとまで戻り、越辺川上流に見える武甲山を遠くに眺めながら、橋を渡り、真つすぐに行くと、越生駅に突き当る。左に線路沿いに行き、踏切を渡ると、右に越生駅の改札口がある。

●コースタイム
(09年1月6日(火)ほか歩く)

越生駅—10分—越生神社—15分—高取山—15分—西山高取—30分—五大尊—30分—如

意輪観音堂—10分—弘法山—10分—見正寺—60分—山吹の里歴史公園—10分—越生駅

●費用
池袋⇨越生

東武東上・越生線 700円

●問い合わせ先
越生町観光案内所

049-292-6783

●地図
越生(2万5千)

別冊 関西の山

新ハイキング

西日本の山を中心に編集の「新ハイキング」関西版
毎奇数月発行の隔月刊。560円(税込)

新ハイHPで最新号・バックナンバーの目次も見られます。
代金相当の切手送付で1冊単位でもお送りいたします。

定期購読：入会金 560円 年会費 3300円

〒610-0121 京都府城陽市寺田大畔10-10

新ハイキング関西

Tel・Fax 0774(53)2754 振替 01040-7-70356